



平成20年9月11日
第22回 技術部報告会

アジアを見据えた 熊本の産業と人材育成

大変革時代の技術部の発展に向けて
=憧れられる職能集団への進化=

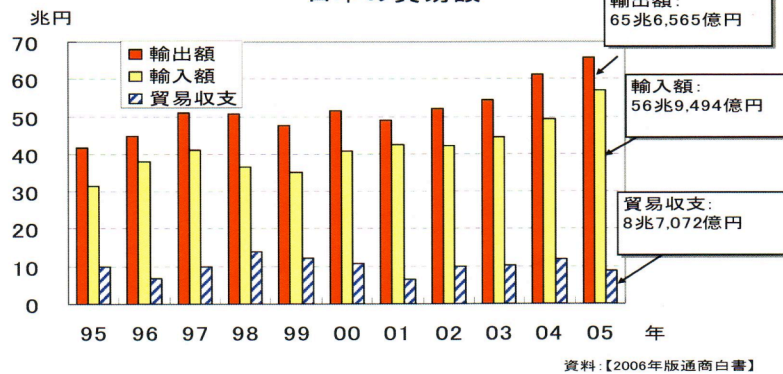
熊本大学
工学部長／技術部長



谷口 功



日本の貿易額



輸入： 石油・石炭・天然ガス等(26%)；食料品(10%)；
コンピュータ周辺機器(5%)；衣料品(4%)；半導体・電子部品(4%)；
乗用車等(3%)；鉄鉱石等(3%) ……

輸出： 乗用車等(21%)；半導体・電子部品(7%)；鉄鋼製品(5%)；
化学品(4%)；コンピュータ周辺機器(4%)；自動車エンジン等(3%)；
ビデオカメラ(3%) ……

日本の産業構造の変化（２）：製造業

1970年代（エネルギー危機）

重化学工業、一般機械工業から、
エレクトロニクス、自動車、情報技術などの分野に移行。

1990年代初め：

技術革新への対応と生産拠点のアジア諸国への移転

1990年代半ば以降：

家庭用電化製品、一般機械、窯業・セメント、輸送用、機械
などの製造業者が、生産拠点を中国等へ移転。

2000年12月：

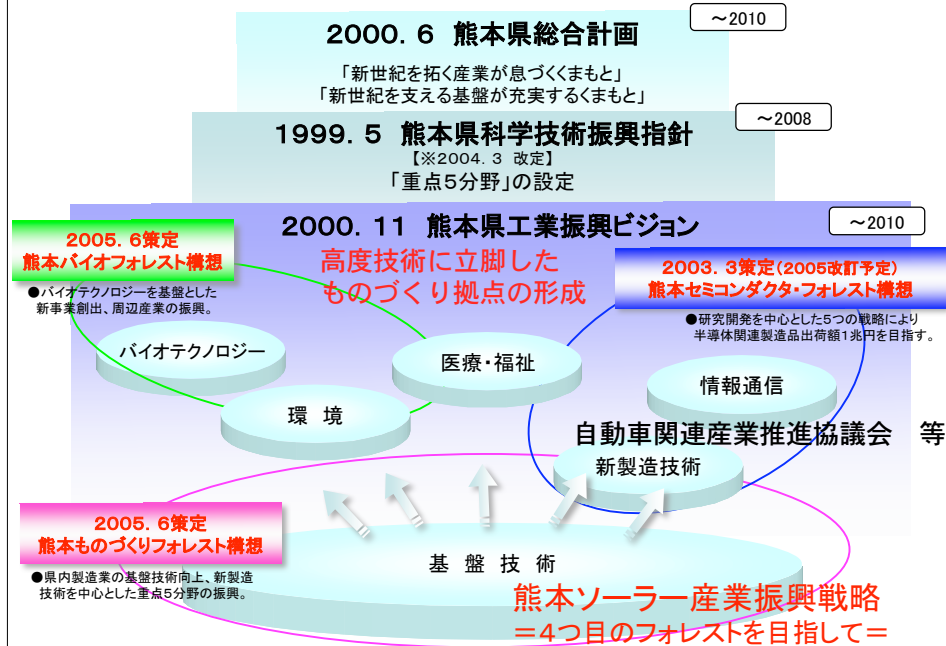
従業員数10人以上の製造業者の数は、15万4,669社

就業者数は、806万人

（数字は、いずれも1991年のピーク時から比べると、
約20%減少）

==>付加価値の高い先端的製品の国内製造

熊本県における産業振興3構想の位置づけ



熊本へ進出している企業群

電子情報関連機器
環境・エネルギー
バイオ



熊本の優位性 (Why Kumamoto)

情勢の急速な変化の中での熊本の特徴 (産業集積)

- ・自動車産業の進出 (北部九州中心に100(200)万台/年)
で総合的な関連産業が動く ==> 新しい経済活性化のチャンス
- ・半導体・IT関連の集積・発展が益々進む
- ・環境エネルギー関連の産業が進出/集積
- ・関連して異業種連携 (バイオ関連) 産業の進展
==>種々の産業が引きずられて発展する

アジアを睨んだ九州・熊本=その優位性=

- ・新産業集積地(New Kyushu Era)としての熊本の発展
(新幹線整備/アジアとの位置) : 我が国の産業フロント・拠点
- ・地域行政の支援 : 流通システムのインフラ整備/金融 (資金) 支援
- ・人材確保/大学・くまもとテクノ財団関連研究機関の技術支援

==>アジアを睨んで産業集積が加速すると予想される

進出企業は何を見ているか

(地域の特性・地理的状況/人材/支援体制 など)

評価点：迅速な対応／経済支援／人材／フォローアップ
問題点：インフラ整備（物流／通勤）

なぜ今アジアか

- ・我が国の産業の発展は、東アジアの発展
とともにある
アジア諸国の高い経済成長率
- ・莫大な数の人材と巨大需要（マーケット）
人材供給源としての中国・アジア諸国
中国には欧米の大学が進出している
（人材争奪戦が繰り広げられつつある）

環黄海(東アジア)における連携

熊本大学 上海フォーラム2005
 第3回熊本大学フォーラム
 2005.10.27⑨-10.28⑩
 会場: オークタワー・プラザホテル上海

**熊本大学フォーラム
2005 in 上海**

熊本大学韓国フォーラム2006
 第4回熊本大学フォーラム
 2006.9.26⑨-9.27⑩
 会場: 9月26日: 浦項大学校 9月27日: 慶城ホテル

**熊本大学フォーラム
2006 in 韓国**

**熊本大学フォーラム
2007 in 熊本**

**第5回熊本大学
熊本フォーラム**

くまもとだいがく こくさいれんけいじんざいいくせい
熊本大学アジア国際連携人材育成
 プログラム2007ガイドブック

2007年7月29日～2007年8月11日

全学事業として開催

工学部:
南台科技大学生の短期留学
プログラム(6月30日-7月11日)

熊本大学アジア国際連携人材育成プログラム2007

KUMAMOTO UNIVERSITY
 Short-Term International Exchange
 Program for Asian Students (STIEP)
 2007 Guidebook

July 29, 2007 to August 11, 2007

Kumamoto University
 Kumamoto University

脱線

地域独自（特徴ある分野）の 産業人材教育

熊本の魅力を踏まえた新しい「こと興し」を

九州地域での太陽電池生産（日経08/6/26）

富士電機システムズ

（12 MW=>40 MW（今年度）=>150 MW（2012年））

ホンダソルテック

（28 MW）

三菱重工

昭和シェル

=====

上記4社

127.5 MW（2007年度末）=>385.5 MW（2011年度末）

世界市場

3,730 MW（2007年：前年比50%増）

=====

九州電力の太陽光発電導入量

2億kWh（2007年）=>6億kWh（10年後）

九州内での需要拡大が必須

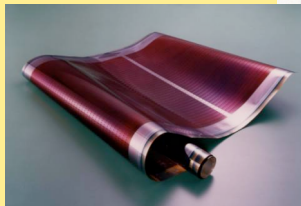
住宅向け補助制度の復活 / 新しい太陽電池の活用形の開発

教育（人材育成）の基本に関わる キーワード

基礎の標準化・系統化（JABEE/ISO；カリキュラム改革）
実業との連携（インターンシップ）（ものづくり教育）
産学連携／地域との連携（貢献）
国際競争（国際的に通用する質の高い内容）
チャレンジ精神／誇り／自信 etc

小中学生から育てる（技術部の寄与大）／高校（SSH）／
大学（ものづくり教育）／小中高の先生（免許制度活用）

For the promising future
未来へ、高い志を掲げて！！



熊本/上海を
アジアを中心とした
今後の世界の
拠点に
Toward the Center of
world Economy!



**Kumamoto
Green City with
Clean Energy/
Clean Environment**

挑戦が
新しい時代を
切り開く！
Challenge!



<400年祭キャラクター>



<400年祭シンボル>



熊本城築城400年祭
ホームページ

熊本の将来性・優位性を現実化できるのは教育機関／産業界の協力が必要！！